

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和元年8月23日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：児嶋長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○児嶋総務課長 報道官の児嶋です。

それでは、お手元の広報日程に従いまして、補足説明をさせていただきます。

まずは、2番の検討チームの会合につきましてです。

1ページおめくりいただいて、2ページ一番上の8月27日火曜日から参ります。

(3) 第759回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合。議題は1つとなっておりますけれども、2つございます。

主に2つでありまして、1つ目が、関西電力・高浜発電所1号機と2号機、また、同じく関西電力・美浜発電所3号機の保安規定の変更認可につきまして、それぞれ7月31日に申請があったことから、事業者からその概要の説明を受けるものです。

また、2つ目が、中国電力・島根原子力発電所2号機の設置変更許可につきまして、事業者から耐震設計方針に関する4月9日の会合のコメント回答を受けるものです。

次に、(4) 第8回実用発電用原子炉施設の廃止措置計画に係る審査会合。こちらは四国電力・伊方原子力発電所1号機及び2号機、関西電力・大飯発電所1号機及び2号機、また、同じく関西電力・美浜発電所1号機及び2号機、これらの廃止措置計画につきまして、7月21日の会合のコメント回答を受けるものです。

続きまして、(6) 第760回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合。こちらは関西電力・美浜発電所3号機の特別重大事故等対処施設の設置変更許可のうち、中央制御室外停止盤、いわゆるEP盤に関する説明を受けるものです。特重施設の関係ですので、非公開となっております。

続きまして、その下、8月29日木曜日、(8) 第32回東海再処理施設安全監視チーム会合。こちらは、その他以外だと議題が2つございます。

議題1のほうは、これは日本原子力研究開発機構（JAEA）・東海再処理施設に関しまして、7月末にガラス固化処理の装置が停止した事象がございました。事業者から、その原因と対策に関する説明を受けるものです。

議題2ですが、これは同施設の廃止措置に関するそのほかの対応状況に関しまして、説明を受けるものです。

続きまして、1枚おめくりいただきまして、3ページ目一番上から参ります。

8月30日金曜日、(9)第761回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合。これは関西電力・美浜発電所3号機の特定重大事故等対処施設に係る設置変更許可に関しまして、7月12日の会合のコメント回答を受けるものです。これも特重施設の審査のため、非公開となっております。

続きまして、(10)第762回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合。これは、議題がその他以外は2つございます。

議題1のほうですが、中国電力・島根原子力発電所2号機の設置変更許可につきまして、事業者から基礎地盤や斜面の安定性評価に関する説明を初めて受けるものです。

議題2は、東北電力・女川原子力発電所2号機の設置変更許可につきまして、7月26日のコメント回答を受けるものであります。

続きまして、3. 委員の現地調査・視察の予定です。

(1) 島根県・鳥取県での原子力災害対策に関する現地視察。日時は、8月29日木曜日の10時からと8月30日金曜日10時からとなっております。これは伴委員が、今年度の国の原子力総合防災訓練が予定されている島根県におきまして事前訓練を視察されるほか、島根県の被ばく医療施設や、島根県、また、鳥取県の避難に係る施設、そこにございますが、避難退域時検査会場、こういった施設などを視察されるものであります。

(2) 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構(JAEA)新型転換炉原型炉ふげん・高速増殖原型炉もんじゅの現地調査。こちらは8月30日金曜日の9時20分から行われます。これは山中委員が、ふげん、もんじゅの廃止措置の現状を現地で確認するものであります。

私からは以上です。

<質疑応答>

○司会 それでは、皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

それでは、質問のある方は手を挙げてください。フジオカさん。

○記者 NHKのフジオカです。

3ページ目の(10)の審査会合で、議題2にあります東北電力の女川2号機の審査なのですけれども、地盤の審査ですね。これは先ほどもありましたけれども、コメント回答を受けて、まとめの会合までにはいかないということでしょうか。

○児嶋総務課長 今回は耐震重要施設を追加するという事になったので、それに関する説明のみを受けると聞いております。

○記者 まだ地盤の場合、まとめの会合、その取りまとめだったりとかというのは今回は入っていないからということでしょうか。

○児嶋総務課長 はい。まとめの会合ではないと聞いています。

○司会 ほか、ございますでしょうか。どうぞ。

○記者 中国新聞のサカイといいます。

同じく762回の会合で、中国電力の島根原発2号機の基礎地盤、周辺斜面の安定性評価なのですが、これは中国電力が初めて規制委員会に説明するという事は、つまり、地盤や周辺斜面の安定性評価の審査が始まるということでいいのですか。

○児嶋総務課長 この点に関しては、そのとおりです。

○記者 分かりました。ありがとうございます。

○司会 それでは、以上でよろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—